

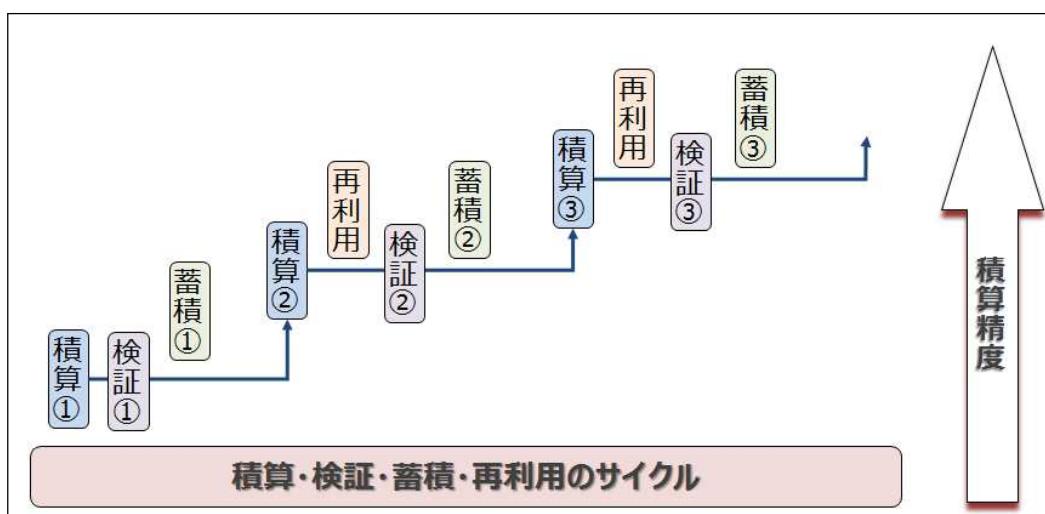
積算根拠

積算根拠の記録／検索

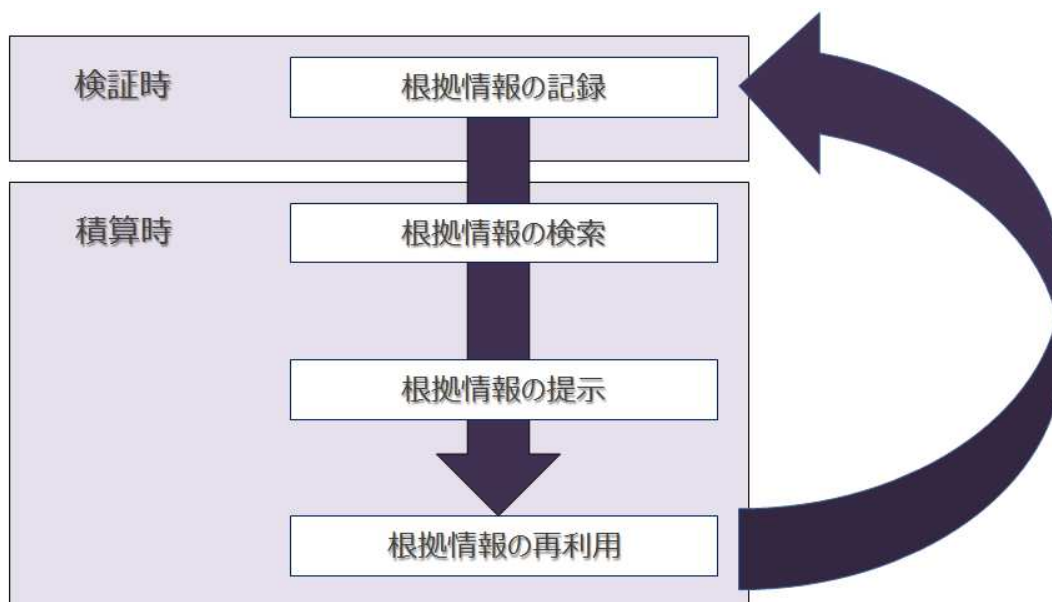
本機能は、情報を蓄積することで、今後の積算精度向上に役立つサポート機能です。

概要としては、積算や検証時にわかった見積単価や見積歩掛を Gaia に記録することができ、今後の積算時に蓄積した情報を検索し、参考にできます。

本機能の運用イメージ



本機能の流れ



■積算根拠の記録

1. 根拠記録を行なう

根拠として記録しておきたい単価あるいは

表を選択し、ツールバーの



をクリックします。



2. 「根拠記録」画面

「根拠記録」画面が表示されます。

根拠が載っているファイルとページを積算根拠検索できるように記録します。
(* が付いた項目は必須入力項目です。)

■積算根拠が載っている場所

選択 関連ファイルの保存場所から選択

① * ファイル
* ページ

■この場所を検索するための情報 (キーワード1、キーワード2とコメントが検索の対象になります。)

② * キーワード1
キーワード2

③ コメント

④ * 工事名

⑤ 発注者

⑥ 単価適用日

⑦

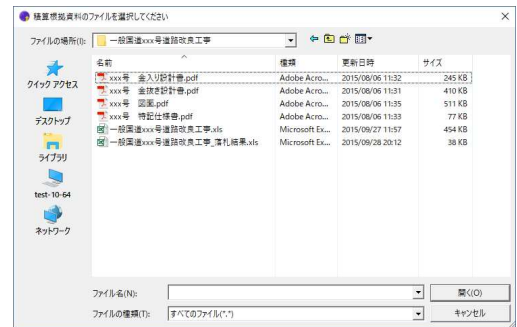
検索用のキーワードと根拠のファイルをセットで記録します。

* マークがついている項目は必須入力です。

① 根拠が記載されているファイルとページを記録します。

選択 ボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されますので、記録したいファイルを選択し[開く]をクリックしてください。

ファイルを選択するとファイルが開きます。
根拠が記載されているページを確認し
「根拠記録」画面に戻りページを入力して下さい。



- **関連ファイルの保存場所から選択** ボタンをクリックすると
Gaia で取り込みを行った設計書や Gaia から出力した EXCEL ファイルなど、Gaia のデータファイル保存先のフォルダが開きます。

② キーワードを記録します。

カーソル行の名称が「キーワード1」に、規格が「キーワード2」に表示されます。
必要に応じて、検索したいキーワードに変更して下さい。

③ コメントを記録します。

カーソル行の付箋コメントが「コメント」に表示されます。必要に応じて変更して下さい。
「コメント」内の文字も根拠検索の対象となります。

②の「キーワード1」「キーワード2」、③の「コメント」が、**根拠検索の対象**となります。

④ 工事名を記録します。

編集している工事名が表示されます。必要に応じて変更して下さい。
設定された工事名は根拠検索の結果に表示されます。

⑤ 発注者を記録します。

総括表で設定されている発注者が表示されます。直接編集することも可能です。
設定しておく、と、根拠検索の結果を発注者で絞り込むことが出来ます。

⑥ 単価適用日を記録します。

総括表で設定されている単価適用日が表示されます。
設定しておく、と、根拠検索の結果を単価適用日で絞り込むことが出来ます。

⑦見積単価／見積歩掛を登録します。

根拠記録とは別に見積単価／見積歩掛にも登録しておく場合に使用します。

[見積単価に登録して閉じる]をクリックします。







見積単価のツリーが表示されますので登録したいフォルダを選択し[開始]をクリックします。
(見積歩掛も同様の操作になります。)



カーソル行が単価の場合は [見積単価に登録して閉じる] ボタンが有効になります。
カーソル行が表の場合は [見積歩掛に登録して閉じる] ボタンが有効になります。
登録しておくこと、今後の積算時に再利用することが出来ます。

- 根拠記録として登録した場合、
見積単価には青の横ストライプの付箋、
見積歩掛には緑の横ストライプの付箋
がつきます。

		ボックスカルバート ルーサルト 700x700
		ボックスカルバート 据付 0<B≤1.25_0<H≤1.25

■積算根拠の検索

1. 根拠検索を行う

根拠を検索したい場合は、ツールバーの



をクリックします。



2. 「根拠検索」画面

「根拠検索」画面が表示されます。

① キーワード かつ または 完全一致

PDFファイル検索 検索対象フォルダ以下のファイルも検索する

② 検索対象フォルダ

フィルタ

③ 発注者 単価適用日 ~

④	工事名/ファイル名	発注者名	単価適用日	参考資料	付箋	フォルダ	見積	根拠

「根拠記録」画面にて記録した根拠を、入力されたキーワードで検索します。

また、「根拠記録」で記録した根拠だけでなく、パソコン内の PDF ファイル内もキーワードで検索することが出来ます。

- 対象となるファイルは、テキスト検索が可能な PDF ファイルのみです。
電子化されていない PDF、あるいは Excel ファイル等は対象外となります。

①検索キーワードで根拠記録した情報を検索します。

検索キーワードを入力して [検索] ボタンをクリックすると、「根拠記録」画面にて記録した根拠を検索します。

② 根拠記録とは別に対象フォルダ内の PDF ファイルも含めて検索します。

「根拠記録」画面にて記録していないファイルも、入力された検索キーワードで検索することが出来ます。

手順：

1. 検索対象フォルダ以下のファイルも検索する にチェックをつけます。
2. [選択] ボタンをクリックし、検索対象フォルダを選択し[OK]をクリックします。
3. [検索]ボタンをクリックします。

対象となるファイルは、テキスト検索が可能な PDF ファイルのみです。
電子化されていない PDF、あるいは Excel ファイル等は対象外となります。

- 検索対象フォルダを設定すると、次回以降も選択した検索対象フォルダが検索対象フォルダとして設定されます。
- 検索対象として設定されたフォルダを初めて検索する時は多少時間を要しますが、次回以降の検索に時間はかかりません。

③発注者、単価適用日で絞り込みます。

「根拠記録」画面にて根拠を記録した際、発注者あるいは単価適用日を設定していると、検索結果を発注者、単価適用日で絞り込むことが可能です。

④検索結果を確認します。

	工事名/ファイル名	発注者名	単価適用日	参考資料	付箋	フォルダ	見積	根拠
1	一般国道 △△線 道路改良工事	OO県 土木	2017/08/07	P.27	追記	開く	単価・歩掛	
2	xx号線道路改良工事	OO県 土木	2016/09/01	P.62	追記	開く		
3	xxx号 金入り設計書.pdf	-	-	P.10 P.11 P.25 P.26 P.28 P.29 P.30 P.31 P.32	追記	開く		追加
4	xxx号 金抜き設計書.pdf	-	-	P.4 P.5 P.18 P.20 P.21 P.22 P.55 P.60 P.63	追記	開く		追加
5	xxx号 特記仕様書.pdf	-	-	P.3	追記	開く		追加

●根拠検索の結果

	①	②	③	④	⑤	⑥		
	工事名/ファイル名	発注者名	単価適用日	参考資料	付箋	フォルダ	見積	根拠
1	一般国道 △△線 道路改良工事	〇〇県 土木	2017/08/07	P.27	追記	開く	単価・歩掛	
2	xx号線道路改良工事	〇〇県 土木	2016/09/01	P.62	追記	開く		
3	xxx号 金入り設計書.pdf	-	-	P.10 P.11 P.25 P.26 P.28 P.29 P.30 P.31 P.32	追記	開く		追加
4	xxx号 金抜き設計書.pdf	-	-	P.4 P.5 P.19 P.20 P.21 P.22 P.55 P.60 P.63	追記	開く		追加
5	xxx号 特記仕様書.pdf	-	-	P.3	追記	開く		追加

①<根拠記録をした根拠の場合>

アイコンが表示されます。

根拠記録を行った設計書の工事名、記録時に設定した発注者名、単価適用日が表示されます。

<PDF ファイル検索で見つかった場合>

アイコンが表示されます。

見つかった PDF ファイルのファイル名が表示されます。

③ 検索で見つかったページが表示されます。

青線のページ番号をクリックすると、参考資料が開き、該当するページが開きます。

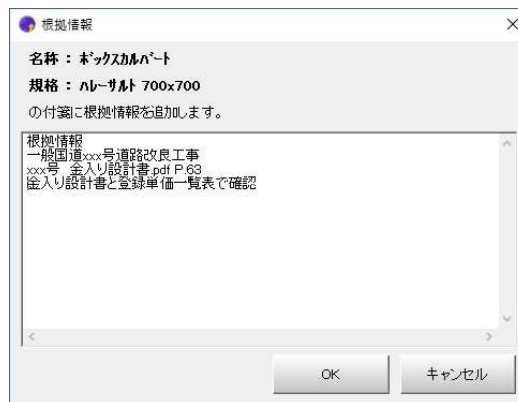
- 青字のページ番号にマウスを近づけると、保存場所とファイル名がヒント表示されます。ファイル名や保存場所の確認が行えます。

コード	名称・説明1・規格	単位	単価 (1,4,8)	単価 (1,6,9)	単価 (7,10)	単価 (11,12)	数量 (13)	数量 (14)
8000	道路改良 幅員15.0m・長さ0.0m	区						
8000	道路改良 幅員15.0m・長さ5.0m	区						
P00000001	大型下り車 舗装付付		5,000	5,000				
7000	付箋料	枚					1	
P00000004	デジタルカラーシート A4用紙 400×500		80,500					
P00000007	デジタルカラーシート A3用紙 700×700		106,500					
P00000008	デジタルカラーシート A2用紙 800×800		112,600					
P00000009	デジタルカラーシート A1用紙 900×900		133,900					

③編集中の設計書のカーソル行の付箋メモに根拠情報を追記します。

[追記] ボタンをクリックすると、根拠記録をした根拠の場合は工事名、ファイル名、ページを、PDF ファイル検索で見つかった場合はファイル名、ページを、カーソル行の付箋メモに追記します。

設計書にて単価あるいは表のチェックを行なう際、付箋メモで根拠を確認することができます。



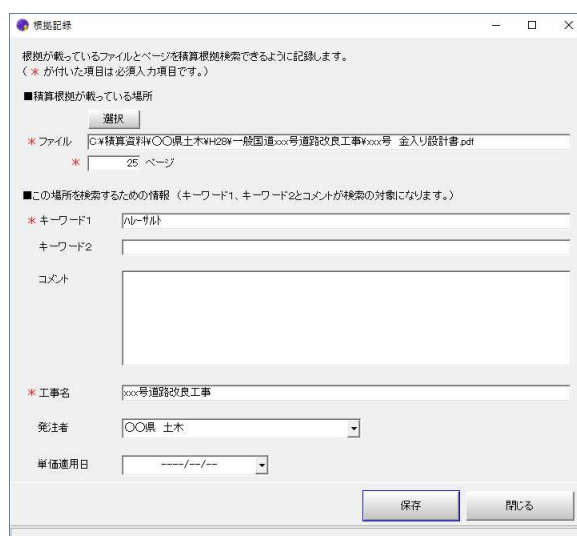
- ④参考資料が保存されているフォルダを
エクスプローラで開きます。
その他の関連する資料を確認することが出来ます。



- ⑤根拠記録をした際、見積単価を登録した場合は「単価」、見積歩掛を登録した場合は「歩掛」と表示されます。
編集中の設計書で再利用する場合は積算検索画面を終了し、単価登録画面から見積単価を、工種登録画面から見積歩掛を設計書に計上して下さい。

- ⑥PDF テキスト検索で見つかった行のみ
[追加] ボタンが表示されます。
[追加] ボタンをクリックすると、
「根拠記録」画面が表示され、
根拠記録として登録出来ます。

根拠記録として登録しておく、
次回の根拠検索時に PDF テキスト検索の
ファイルから探し出さなくても、
的確に根拠を確認することが出来ます。



●記録した根拠情報の削除/コピー

根拠検索の結果一覧で右クリックをするとメニューが表示されます。

	工事名/ファイル名	発注者名	単価適用日	参考資料	付箋	フ
1	一般国道 △△線 道路改良工事	〇〇県 土木	2015.07.27		追記	
2	xx号線道路改良工事	〇〇県 土木	2015.07.27		追記	

[削除] メニュー

<根拠記録をした根拠の場合>

根拠記録のデータから削除を行います。

次回同じキーワードで検索を行っても、検索結果として表示されません。

<PDF ファイル検索で見つかった場合>

根拠検索の結果一覧から削除されます。

次回同じキーワードで検索を行なうと、再度検索結果として表示されます。

[コピー] メニュー

クリップボードにコピーをします。付箋メモあるいは Excel 等に貼り付けて下さい。

付箋欄の [追記] ボタンは、編集中の設計書のカーソル行の付箋メモに貼り付けます。

[コピー] メニューは、「根拠検索」画面を閉じ、設計書の編集に戻ってから
任意の付箋にメモとして貼り付けることができます。

● 工事名表からの根拠記録／積算根拠検索

積算は行なっていないなくても、調査で得た情報などを根拠として記録しておきたい場合は、工事名表から根拠記録を行うことができます。

設計書から根拠記録を行なう場合との違いは、以下の点です。

- ・ [関連ファイルの保存場所から選択] ボタンがない。
- ・ キーワード、工事名を手入力する必要がある。
- ・ 発注者は、直近で総括表にて選択した発注者が設定されている。
- ・ 単価適用日が設定されていない。
- ・ [見積単価に登録して閉じる]、[見積歩掛に登録して閉じる] ボタンがない。

また、工事名表から積算根拠検索も行えます。

設計書から積算根拠検索を行なう場合との違いは、根拠情報を付箋メモに追記するボタンがありません。

■ 積算根拠の保存/読込

積算根拠データの保存を行なう場合は、[Gaia10 起動メニュー]－[データ管理]－[データを保存]－[積算根拠の保存]で保存を行って下さい。

積算根拠データの読込を行なう場合は、[Gaia10 起動メニュー]－[データ管理]－[データを読込]－[積算根拠の読込]で読込を行って下さい。

積算根拠データ（キーワード、ファイルパス、ページ、工事名などのデータ）のみの保存、読込に対応しています。

積算根拠となるファイル自体の保存、読込には対応していません。
お客様自身でファイルのコピーを行っていただきますよう、よろしくお願い致します。
その際、根拠記録した際のファイルパスに合わせていただく必要があります。